

第三期 / 第4回 (最終)
靖国 連続 映像 学習会

2019 年 4 月 12 日 (金) 18:30より

映像『考えてみよう靖国問題』

制作：日韓共同ドキュメンタリー あんにょん・サヨナラ上映委員会

靖国神社に祀られ、天皇にまで神として拝まれることを至上の名誉と感覚できるようになることを「皇民化」と呼ぶとしたら、その皇民化教育に対して最も果敢に抵抗したのが植民地朝鮮の民衆だったでしょう。靖国神社には植民地台湾と朝鮮人軍人軍属も五万人祀られています。命を奪われた後も侵略の模範として利用され続ける靖国合祀に根本的な拒否「絶祀」で立ち向かった韓国人遺族たち。その闘いを基礎に作られた「考えてみよう靖国問題」を第四回目の映像学習に選びました。靖国合祀を名誉と考え、百五十年に及ぶ皇民化教育から抜け出せないでいる多くの日本の民衆にも大きな影響を与えた闘いを振り返りたいと思います。

「植民地支配と靖国」

矢野 秀喜 さん

朝鮮人強制労働被害者補償立法をめざす日韓共同行動・事務局長

映像鑑賞後にお話しいただくのは、矢野秀喜さんです。矢野さんは、長く植民地朝鮮の戦後補償問題に取り組んでこられた方で、戦後補償の一環として闘われた靖国合祀拒否の運動だけでなく現在も様々な活動にかかわっておられます。矢野さんから最新の課題についてもお話しただけだと思います。

エル・おおさか 本館 5 階視聴覚室

参加費 800円

主催

靖国合祀イヤです・アジアネットワーク

大阪市中央区内淡路町1丁目 3-11-402 FAX06-7777-4925